

1-4

演題	褥瘡ゼロを目指して
副題	～チームケア×褥瘡予防対策＝みんなの笑顔～

法人名	社会福祉法人 藤嶺会
施設名	弥生苑

発表者名 (職種)	松村 奈津実 介護職員	都道府県	神奈川県
共同発表者		住所	横浜市旭区上川井町 1241-1
共同発表者		TEL	045-922-5141
共同発表者		FAX	045-921-5041
共同発表者		メールアドレス	at-sakuma-01@toureikai.jp
共同発表者		URL	https://toureikai.jp/

今回の発表施設 またはサービスの 概要	弥生苑は平成9年5月に開設した従来型の特別養護老人ホームです。本入所84床、短期入所6床の全90床であり、平均要介護度は4.3（令和7年4月現在） やさしさ、思いやり、ふれあいを法人理念とし、日々取り組みを行っています。
---------------------------	---

研究の目的、PR ポイント

近年、特別養護老人ホームでは介護度の重度化が進行しています。その中で、日々生活の支援をしている私たち介護職員だけでは、取り組み内容にも限りがあります。お客様が健やかで豊かな生活を送る為の大切な一つのポイントとして、チームケアが挙げられます。今回は、チームケア×褥瘡予防対策という点に注目して研究発表を行います。

取り組んだ課題

近年、寝たきりの方や、食事や入浴の時のみ離床する方の増加など、介護度の重度化が進んでいる。このままの状態では、褥瘡発生率が高くなる為、医師、看護師、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、介護職員と情報共有を行い、チームケアにて褥瘡予防の支援を行った。
又、ご家族様からの理解を得る事も重要であり、信頼関係の構築も必要となる為、介護職員としてご家族様へ出来るアプローチを検討し取り組んだ。

具体的な取り組み

- ① 月1回の会議にて、看護師より褥瘡発生者の対応報告、管理栄養士より栄養面の報告、介護職員より各委員会の報告等の情報をもとに、褥瘡評価の見直しを実施。
- ② 会議にてお客様のベッドマットの見直しを検討。
- ③ 褥瘡発生者は毎週金曜日に看護師と褥瘡評価を行い、処置内容や対応の見直しを実施。
- ④ 年2回、褥瘡予防研修の実施。
- ⑤ お客様の写真撮影を行い、ご家族様への近況報告の一環として、カードの作成。

活動の成果と評価

- ・チームケアで情報共有する事で、褥瘡発生時の周知や対応も早期に役割を果たしており、早期治療にも繋げる事が出来た。
- ・褥瘡予防研修を通して、介護職員の褥瘡予防に関する知識・意識の向上や介助技術の向上に繋げる事が出来た。
- ・コロナ禍で面会に制限がかかっていた為、ご家族

様より「普段の様子が知れて嬉しい」等の嬉しい声を頂くことができ、信頼関係の構築に繋げる事が出来た。

今後の課題

- ・褥瘡発生者数はわずかに増加している。好発部位である臀部などへの褥瘡予防への意識は高まったが、外反母趾や踵の褥瘡発生者も数名見受けられた。その為、都度振り返り何が原因であったのかリスクマネジメントとして検討する必要があると思われる。
- ・写真撮影やカードの作成も、まだ職員間では定着しておらず、一定の職員のみでの対応となっている為、今後フロア全体として取り組めるような工夫が必要と思われる。